

11月20日に日装連リフォーム推進協議会の設立総会を開催

日装連では5月28日付にて、リフォーム事業に積極的に取り組む組合員による新しい団体として、一般社団法人日装連リフォーム推進協議会(略称・日里協/小坂田会長)を設立した。

「第37回JAPANTECH2018」会期初日となる11月20日(火)には東京ビッグサイトにて設立総会および記念フォーラムを開催、いよいよ本格的に活動をスタートさせる。

内装業界にとって、新たな事業領域として注目を集めているのが、一般ユーザー向けのリフォーム事業である。

中長期的に新築需要の落ち込みが見込まれる中、リフォームは成長分野として大いに期待されているが、その一方、さまざまな業種業態の事業者が参入する競争の厳しい分野でもあり、そこで勝ち抜くことは容易ではない。

新たに立ち上げた日里協とは、リフォーム事業に取り組む、あるいはこれから取り組みを開始する組合員を支援すべく、リフォーム事業に必要な知識や技術、情報の提供、さらには需要開拓のためのPR活動、ユーザー窓口業務などを行うリフォームに特化した団体だ。

体制が整備されたあかつきには、国土交通省所管の住宅リフォーム事業者団体登録制度における「住宅リフォーム事業者団体」への登録も行い、団体として、「安心安全なリフォーム事業者」という公的な認定を得て、専用ロゴマークの活用などによってより競争力を高めていく計画である。

その設立総会・記念フォーラムが、来る11月20日(火)、「第37回JAPANTECH2018」会期初日に東京ビッグサイトにて開催される。

設立総会(13時30分～)では、開会セレモニーとして、日装連の小坂田会長による挨拶、設立経緯説明を執り行った後に各議案について審議、会員規則(案)、入退会規定(案)、役員選任といった設立に関する議案の他、平成30年度事業計画(案)、平成30年度収支予算(案)についても審議される。

ちなみに、運営体制については、「広報・情報委員会」、「研修・交流委員会」、「サポートセンター」(事務局)が設置される予定である。「広報・情報委員会」では、国、リフォーム関連行政、関連団体、メーカー・商社、メディアなどから幅広く情報収集をするとともに、一般ユーザーにホームページや情報誌、イベントなどを通じて情報発信を行う。

「研修・交流委員会」では、会員の資質向上に向けた研修会(概ね3カ月ごとに実施)の企画・運営、会員同士の情報交流会の企画・運営などを行う。そして「サポートセンター」では、一般ユーザーからのリフォームに関する相談・苦情・問い合わせに電話対応するほか、会員からのリフォームに関する相談・問い合わせの電話対応も行う。設立総会終了後は、記念フォーラム(14時30分～/日里協の会員以外も聴講可能)として、基調講演、パネルディスカッションを行う。

基調講演は、日里協と協力関係にあり、「住宅リフォーム事業者団体」の登録団体でもある一般社団法人日本住宅リフォーム産業協会(JERCO)の盛静男会長を講師に招き、リフォーム事業をどのように発展させるか、事業者団体はどうあるべきかといったテーマで約60分間語っていただき、続くパネルディスカッションでは、3名のリフォーム事業者をパネラーに招いて、「リフォーム事業こそ幸福の原点」と題して、リフォーム事業の経営手法、顧客や工事のまつわるエピソードを語り合っていた。

終了後は懇親パーティーを行う。

この設立総会・記念フォーラムをもって、日リ協の活動が本格スタートすることになる。
なお設立時の会員数は全国組合員123社の予定で、今後も随時入会受付を行っていく。

日装連新聞(第497号)より引用